

# 資料編

## 1. 鎌倉市のスポーツ施設の整備状況評価

本市は、平成7年2月に「鎌倉市スポーツ施設整備プラン」を策定していますが、本計画を策定するにあたり、このプランの進捗状況や実施の過程で新たに生まれた課題を整理することとしました。

同プランの評価は、全市民を対象にした市民意向調査・市民アンケート、スポーツ活動を行っている人やスポーツに関心の高い人によるワークショップ、団体インタビューを踏まえて策定委員会およびスポーツ振興審議会において行いました。

なお、これらの評価を受けた施設整備の方向性などは本計画の中で定めます。

### (1) 鎌倉市スポーツ施設整備プランの実施結果と評価

#### (プランの実施結果)

- ・プランに掲げる整備目標では、平成13年に小坂小学校プールを1箇所、平成17年に温水プールを1箇所整備した。また、県企業庁水道局より借用していた大仏坂体育館は老朽化により使用を中止したが、平成16年に見田記念体育館を1箇所整備した。
- ・総合グラウンド、スポーツ広場については、以前から市民要望が出されているものの整備できずに現在に至っている。
- ・市内の公共スポーツ施設の不足を補うために、陸上、野球、テニス、卓球、バレー、バスケット、バドミントン、サッカーなどの種目では、市内の企業施設と市外の県・他市施設等を利用することで練習場所や大会開催場所などを確保している現状にある。
- ・企業の生産停止に伴ない、平成17年12月には1つの野球場の借用ができなくなるものと考えられる。

また、本市が所有する深沢多目的スポーツ広場は、「深沢地域の新しいまちづくり」事業が実施されるまでの間、当面平成19年3月までの暫定利用期間として市民のスポーツ利用のために活用しているが、期間を延長することなく他の目的のために転用する場合、少年野球やサッカーなどの練習・試合場所は笛田公園野球場・スポーツ広場のみとなる可能性がある。

## (種目別施設の評価)

### 陸上競技場:プランで示した整備目標 1 箇所

整備状況は、0 箇所。大型スポーツ施設であるため、県下各市とも必ず整備されている状況ではない。県の施設が広域圏で設置されていることから、今後の状況に応じて設置は検討していくものとする。

### 野球場:プランで示した整備目標 1 箇所

整備状況は、0 箇所。現状は、社会人チームは、笛田公園野球場のほか民間企業のグラウンドを利用して練習や大会を行っている。しかし、企業の事業見直しにともない、平成 17 年 12 月にはグラウンド 1 箇所の借用が困難になる可能性もあるため、これに代わる施設が必要である。

### 運動場:プランで示した(多目的スポーツ広場)整備目標 1 箇所

整備状況は、0 箇所。少年野球、サッカー、ラグビー、ソフトボール等は、笛田公園野球場のほか深沢多目的スポーツ広場や市内の学校グラウンドを利用して練習や大会を行っている。深沢多目的スポーツ広場は大会開催のためには必要不可欠な施設であるが、平成 19 年 3 月以降には他の用途に転用する可能性があるため、これに代わる施設が必要である。

### プール:プランで示した整備目標 3 箇所(海浜公園水泳プールの再整備を含む)

整備状況は、1 箇所(こもれび山崎温水プール)。当面、老朽化している海浜公園水泳プールの再整備が急務である。

### 体育館:プランで示した整備目標 総合体育館 1 箇所、地域体育館 3 箇所

整備状況は、1 箇所廃止(大仏坂体育館) 1 箇所整備(見田記念体育館)。現在は民間企業の施設を利用してバレーボールやバスケットボールなどの大会を行っているが、将来的には公式大会が開催できる規模の総合体育館が 1 箇所は必要と考える。

また、だれでも・いつでも気軽に生涯スポーツができるように、身近でスポーツのできる地区体育館の新たな設置が必要である。その手法として、公共施設の新設や改修に合わせた体育室の併設等も検討する必要がある。

### 庭球場:プランで示した整備目標 8 面

整備状況は、0 箇所。新たな施設の設置のほか、より利用しやすい施設として、全天候型や夜間でも使用できる施設整備の検討も必要である。

## スポーツ施設整備状況

施設名	本市の設置状況	県平均	差	施設名	本市の設置状況	県平均	差
陸上競技場	0	0	0	体育館	4	7	3
野球場	1	4	3	柔道剣道場	4	4	0
球技場	0	0	0	庭球場(面)	10	16	6
運動場	0	7	7	弓道場	1	1	0
屋内プール	1	1	0	トレーニング場	1	2	1
屋外プール	1	3	2				

県平均：(県内市町村の人口 16.8 万人に対する施設設置数)

差：鎌倉市の現状と県内市町村平均の差

### (2) スポーツ振興に関する市民による現状の評価

スポーツ施設に関する評価として、市民に対してアンケートを実施したほか、ワークショップやインタビューなどを通じて意見を集めました。

#### 市民意向調査(総合計画 平成 15 年 12 月実施)

- ・ スポーツ実施率 42.8%
- ・ 市が特に優先すべき事項  
「スポーツなどを楽しむ環境が整っている街」は 27 項目中 14 番目
- ・ 全国値(国民生活選好度調査 H14)との比較(満足度)  
「公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと」は 58 項目中最下位で、全国値に比べ満足度が低い。
- ・ 全国値(国民生活選好度調査 H14)との比較(重視度)  
「公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと」は 58 項目中 13 位で、全国値に比べ重視度が低い。

鎌倉市のまちづくりのアンケートでは、スポーツ施設は少ないが優先して整備する施設としては、中位であった。

#### 市民アンケート(スポーツ振興基本計画 平成 16 年 11 月実施)

- ・ スポーツ実施率 53.2%
- ・ 実施しているスポーツの上位  
1 散歩、2 ウォーキング、3 体操
- ・ 種目別使用施設 散歩、ウォーキングは公道、体操は自宅
- ・ スポーツを行っていない理由  
1 時間が無い、2 高齢のため、3 病気体力がない、4 場所施設がない

- ・ さらにスポーツを行う条件
  - 1 スポーツ施設の充実、 2 時間の余裕、 3 会費が安くなれば
- ・ 市のスポーツ施設に対する評価
 

「わからない」(55.4%)と回答する人が過半数を占める一方で、「数も整備内容も不十分」(32.7%)とする人が3分の1を占めている。
- ・ 今後の推進方策
 

本市が今後スポーツ振興を図る際に重視すべきこととして

  - 1 各世代が楽しめる、 2 施設の新築・改築、 3 高齢者の健康づくり、
  - 4 自然環境での教室、 5 子どもの健康づくり

本市のスポーツ実施率は53.2%と全国平均です。

アンケート結果からは、施設を利用したスポーツより、散歩・ウォーキングなど野外で施設を利用しないスポーツをしている市民が多い。しかしながら、「さらにスポーツを行うための条件」にスポーツ施設の充実が一番に挙げられている。

#### 意見

ワークショップや団体インタビューなど、すでにスポーツ活動をしている市民や団体からは、スポーツ施設の整備について強い要望が出されている。現在の利用状況では、定期的な練習やサークル活動をする場所が提供できていないとの指摘がある。

また、市民大会やイベントの開催は、技術の向上を始め連帯感や達成感などスポーツ活動を行う上で必要な行事であるが、既存の施設は十分な機能を備えていないため、市民大会等が開催できる総合体育館やグラウンドを整備することについて強い要望が出されている。

## 2. 市民アンケート結果の概要

### (1) 実施要領

鎌倉市民のスポーツ実施実態を把握するために、18歳以上の市民1000人を対象に下記の要領でアンケート調査を実施しました。

・調査対象	18歳以上の市民1000人（住民基本台帳から無作為抽出）
・調査方法	郵送法（郵送配布、自記筆、郵送回収）
・回答者	385人（回収率 38.5%）
・実施時期	平成16年11月9日～24日

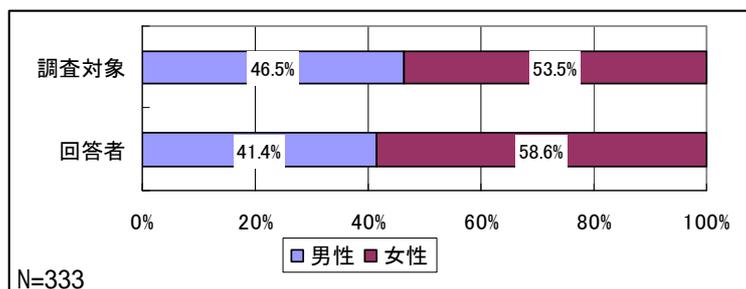
### (2) 調査結果

以下では、調査結果の概要についてまとめました。

#### 回答者の全体像

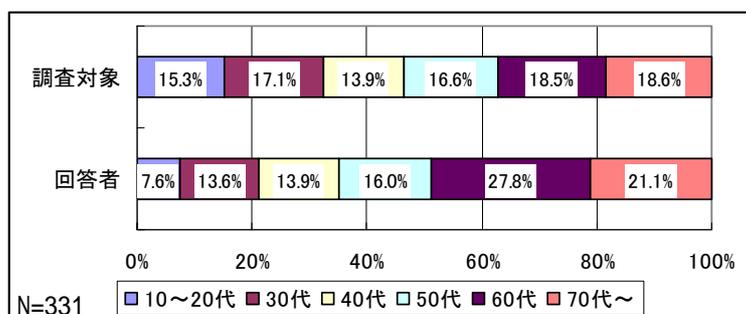
##### 性別

回答者の性別は男性がおよそ4割、女性がおよそ6割である。もともとの調査対象の性別分布と比べると、回答者は女性が多い。



##### 年齢

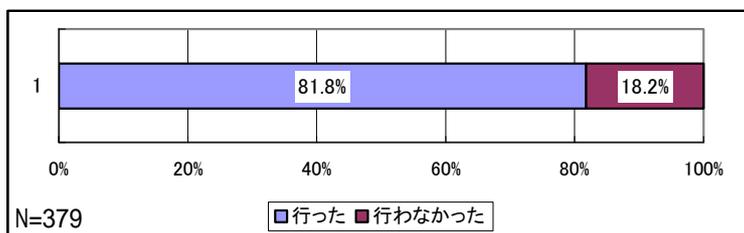
回答者の年齢は、60代が3割弱と最も多く、次いで70代以上、50代と続く。調査対象における年齢分布と比べると、回答者は10～20代、30代が少なく、60代、70代以上が多い。結果の読み取りの際には、高齢者の回答が多く反映されていることに注意を要する。



## スポーツ実施の実態

過去1年間に運動・スポーツを行った人

過去1年間に運動・スポーツ（学校の授業は除き、学校や職場でのクラブ活動は含める）を行った人は8割以上である。



過去1年間にスポーツを行った人の種目（複数回答）、今後行ってみたい種目（複数回答）

過去1年間に行った運動・スポーツの種目と、今後行ってみたい運動・スポーツの種目について、過去1年間の実施実績の多い順に対比させながら一覧の形に整理した。

これによると、過去行った人の割合よりも今後行ってみたい人の割合が10ポイント以上多いスポーツは、ハイキング、水泳、アクアエクササイズ、登山、太極拳、ヨガである。海、山、武道など、鎌倉の歴史や文化、自然を活かしたスポーツの実施希望が強いことがうかがえる。

順位	運動・スポーツ種目	行ったスポーツ		行ってみたいスポーツ		人気度
		人数	%	人数	%	
1	21 散歩(ぶらぶら歩き)	148	49.2	153	46.2	=
2	05 ウォーキング	118	39.2	113	34.1	=
3	35 体操(軽い体操・ラジオ体操)	89	29.6	102	30.8	=
4	12 筋力トレーニング	48	15.9	70	21.1	=
5	43 ハイキング	48	15.9	102	30.8	=
6	16 ゴルフ(コース)	47	15.6	62	18.7	=
7	25 水泳	46	15.3	97	29.3	=
8	17 ゴルフ(練習場)	37	12.3	56	16.9	=
9	50 ボウリング	35	11.6	55	16.6	=
10	18 サイクリング	29	9.6	60	18.1	=
11	40 テニス(硬式テニス)	28	9.3	57	17.2	=
12	24 ジョギング・ランニング	20	6.6	40	12.1	=
13	39 釣り	17	5.6	41	12.4	=
14	07 海水浴	16	5.3	29	8.8	=
15	28 スキー	16	5.3	37	11.2	=
16	06 エアロビックダンス	14	4.7	31	9.4	=
17	02 アクアエクササイズ	12	4.0	53	16.0	=
18	41 登山	11	3.7	54	16.3	=
19	45 バドミントン	10	3.3	27	8.2	=
20	54 野球	10	3.3	16	4.8	=
21	10 キャッチボール	9	3.0	12	3.6	=
22	11 キャンプ	8	2.7	25	7.6	=
23	34 太極拳	8	2.7	55	16.6	=
24	37 卓球	8	2.7	41	12.4	=
25	55 ヨーガ	7	2.3	61	18.4	=
26	19 サッカー	6	2.0	9	2.7	=
27	30 スノーボード	6	2.0	20	6.0	=
28	48 フットサル	6	2.0	13	3.9	=
29	27 社交ダンス	5	1.7	24	7.3	=
30	33 ソフトボール	4	1.3	14	4.2	=
31	42 なわとび	4	1.3	10	3.0	=
32	44 バスケットボール	4	1.3	17	5.1	=
33	20 サーフィン	3	1.0	15	4.5	=
34	31 ソフトテニス(軟式テニス)	3	1.0	11	3.3	=
35	01 アイススケート	2	0.7	15	4.5	=
36	03 インディアカ	2	0.7	3	0.9	=
37	04 インラインスケート	2	0.7	3	0.9	=
38	08 カヌー	2	0.7	23	6.9	=
39	36 体操競技(器械体操)	2	0.7	8	2.4	=
40	46 バレーボール	2	0.7	6	1.8	=
41	56 ヨット	2	0.7	10	3.0	=
42	09 空手	1	0.3	10	3.0	=
43	13 グラウンドゴルフ	1	0.3	9	2.7	=
44	14 ゲートボール	1	0.3	4	1.2	=
45	29 スキューバダイビング	1	0.3	24	7.3	=
46	38 つな引き	1	0.3	5	1.5	=
47	47 ハンドボール	1	0.3	1	0.3	=
48	58 陸上競技	1	0.3	3	0.9	=
49	59 ロードレース(マラソン等)	1	0.3	5	1.5	=
50	15 剣道	0	0.0	6	1.8	=
51	22 柔道	0	0.0	2	0.6	=
52	23 乗馬	0	0.0	31	9.4	=
53	26 水上バイク	0	0.0	7	2.1	=
54	32 ソフトバレーボール	0	0.0	4	1.2	=
55	49 フライングディスク	0	0.0	5	1.5	=
56	51 ボクシング	0	0.0	4	1.2	=
57	52 ボート・漕艇	0	0.0	7	2.1	=
58	53 ボードセーリング	0	0.0	8	2.4	=
59	57 ラグビー	0	0.0	3	0.9	=
60	60 ローラースケート	0	0.0	3	0.9	=
	回答計	301	100.0	331	100.0	
	無回答	15				
	合計	316				
	回答合計	924				
	対象外	69				

(注) 人気度: は「行った」に対して「行ってみたい」が10ポイント以上上昇する種目、  
= は10~-10ポイントの種目。

スポーツ実施率（1回30分以上の運動を週1日以上実施している人の割合）

1回30分以上の運動・スポーツを週1日以上実施している人の割合をスポーツ実施率と捉えると、回答者のスポーツ実施率は53.2%となり、平均ではすでに50%を超えていることになる。

実施している	実施していない	回答計
205	180	385
53.2%	46.8%	100.0%

スポーツ実施率を、性・年齢別に整理すると、実施率はおおむね女性の方が男性よりも高く、また50～60代の実施率が高くなっている。

表例：性+年齢

	実施している	実施していない	回答数
男性：18,19歳	0 (0.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)
男性：20～24歳	0 (0.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)
男性：25～29歳	2 (28.6%)	5 (71.4%)	7 (100.0%)
男性：30～34歳	0 (0.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)
男性：35～39歳	7 (43.8%)	9 (56.3%)	16 (100.0%)
男性：40～44歳	3 (33.3%)	6 (66.7%)	9 (100.0%)
男性：45～49歳	7 (58.3%)	5 (41.7%)	12 (100.0%)
男性：50～54歳	8 (80.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
男性：55～59歳	0 (0.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)
男性：60～64歳	10 (55.6%)	8 (44.4%)	18 (100.0%)
男性：65～69歳	13 (68.4%)	6 (31.6%)	19 (100.0%)
男性：70～74歳	10 (52.6%)	9 (47.4%)	19 (100.0%)
男性：75歳以上	5 (38.5%)	8 (61.5%)	13 (100.0%)
男性計	65 (47.8%)	71 (52.2%)	136 (100.0%)
女性：18,19歳	3 (75.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)
女性：20～24歳	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
女性：25～29歳	4 (50.0%)	4 (50.0%)	8 (100.0%)
女性：30～34歳	10 (66.7%)	5 (33.3%)	15 (100.0%)
女性：35～39歳	5 (50.0%)	5 (50.0%)	10 (100.0%)
女性：40～44歳	9 (45.0%)	11 (55.0%)	20 (100.0%)
女性：45～49歳	5 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
女性：50～54歳	15 (62.5%)	9 (37.5%)	24 (100.0%)
女性：55～59歳	9 (60.0%)	6 (40.0%)	15 (100.0%)
女性：60～64歳	14 (63.6%)	8 (36.4%)	22 (100.0%)
女性：65～69歳	19 (59.4%)	13 (40.6%)	32 (100.0%)
女性：70～74歳	7 (63.6%)	4 (36.4%)	11 (100.0%)
女性：75歳以上	12 (44.4%)	15 (55.6%)	27 (100.0%)
女性計	113 (58.2%)	81 (41.8%)	194 (100.0%)
回答数	178 (53.9%)	152 (46.1%)	330 (100.0%)
無回答	27	28	55
合計	205 (53.2%)	180 (46.8%)	385 (100.0%)

(注) 網掛けは、回答者が10人以上いる層で、実施している人が合計(53.2%)よりも多いもの。

また、同居する子どもの有無と子どもの年代に着目したライフステージ別に整理すると、実施率は同居の子どもがいない層で高く、また、同居の子どもがいる場合は一番下の子どもが小学生以上、つまり育児が一段落した後の層で高くなる。

表側：ライフステージ

	実施している	実施していない	回答数
子供がいない	93 (56.7%)	71 (43.3%)	164 (100.0%)
未就園・未就学の子供	10 (45.5%)	12 (54.5%)	22 (100.0%)
幼稚園・保育園児の子供	5 (35.7%)	9 (64.3%)	14 (100.0%)
小学生の子供	13 (56.5%)	10 (43.5%)	23 (100.0%)
中学生以上の子供	53 (54.6%)	44 (45.4%)	97 (100.0%)
回答数	174 (54.4%)	146 (45.6%)	320 (100.0%)
無回答	31	34	65
合計	205 (53.2%)	180 (46.8%)	385 (100.0%)

(注) 網掛けは、回答者が10人以上いる層で、実施している人が合計(53.2%)よりも多いもの。

参考までに回答者の居住地別に整理すると、実施率は腰越地域で高く、大船地域で低い傾向がある。

表側：あなた自身のこと F4 住んでいる地域

	実施している	実施していない	回答数
1 鎌倉地域	72 (55.4%)	58 (44.6%)	130 (100.0%)
2 腰越地域	38 (59.4%)	26 (40.6%)	64 (100.0%)
3 深沢地域	29 (53.7%)	25 (46.3%)	54 (100.0%)
4 大船地域	40 (50.0%)	40 (50.0%)	80 (100.0%)
5 玉縄地域	24 (54.5%)	20 (45.5%)	44 (100.0%)
回答数	203 (54.6%)	169 (45.4%)	372 (100.0%)
無回答	2	11	13
合計	205 (53.2%)	180 (46.8%)	385 (100.0%)

就業状況別に整理すると、実施率は比較的自由になる時間が多い専業主婦、無職で高くなる。

表側：あなた自身のこと F6 就業状況について

	実施している	実施していない	回答数
1 就業している	77 (49.0%)	80 (51.0%)	157 (100.0%)
2 学生	4 (50.0%)	4 (50.0%)	8 (100.0%)
3 専業主婦	63 (57.8%)	46 (42.2%)	109 (100.0%)
4 無職	54 (58.7%)	38 (41.3%)	92 (100.0%)
回答数	198 (54.1%)	168 (45.9%)	366 (100.0%)
無回答	7	12	19
合計	205 (53.2%)	180 (46.8%)	385 (100.0%)

(注) 網掛けは、回答者が10人以上いる層で、実施している人が合計(53.2%)よりも多いもの。

なお実施率は、勤務先や通学先が市内か市外かによっては、あまり差がなかった。

表側：就業状況

	実施している	実施していない	回答数
1 勤務先、通学先は市内	29 (48.3%)	31 (51.7%)	60 (100.0%)
2 勤務先、通学先は市外	51 (49.5%)	52 (50.5%)	103 (100.0%)
回答数	80 (49.1%)	83 (50.9%)	163 (100.0%)
無回答	1	1	2
合計	81 (49.1%)	84 (50.9%)	165 (100.0%)

### スポーツの実施回数、実施時間

回答者が実施している運動・スポーツの頻度を算出した。各人が行っている運動・スポーツの週あたりの回数を種目毎に計算し、複数種目を行っている場合は種目毎の回数を加算した。平均して週約5回の運動・スポーツを行っていることになる。

回答計	無回答	合計	平均値	最大値	最小値	対象外
286	30	316	4.96	20.00	0.02	69

同様に運動・スポーツを行なう時間を算出すると、週あたりの時間数は平均で245分、つまり4時間程度である。

回答計	無回答	合計	平均値	最大値	最小値	対象外
301	15	316	245.13	1,440.00	1.00	69

### 種目別実施回数、実施時間（上位11種目）

実施している人（回答数）が多いスポーツ上位11種目について、週あたりの実施頻度を整理すると、体操、ウォーキング、筋力トレーニング、散歩などの実施頻度が多い。

	回答数	平均値	最大値	最小値	無回答	合計
21 散歩（ぶらぶら歩き）	134	2.25	10.00	0.04	14	148
05 ウォーキング	115	2.63	8.00	0.04	3	118
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	86	3.91	10.00	0.04	3	89
12 筋力トレーニング	46	2.62	7.02	0.06	2	48
43 ハイキング	43	0.25	2.00	0.02	5	48
16 ゴルフ（コース）	44	0.25	1.00	0.02	3	47
25 水泳	45	0.94	4.00	0.02	1	46
17 ゴルフ（練習場）	35	0.48	3.00	0.04	2	37
50 ボウリング	33	0.12	0.92	0.02	2	35
18 サイクリング	25	1.70	10.00	0.06	4	29
40 テニス（硬式テニス）	28	0.96	5.00	0.02	0	28
回答数	634	1.92	10.00	0.02	39	673

また、週あたりの実施時間数が短いのは、ボウリング、ゴルフ（コース）、ハイキングなどであり、一方、体操、ウォーキング、筋肉トレーニングなどは時間が長い。

	回答数	平均値	最大値	最小値	無回答	合計
21 散歩（ぶらぶら歩き）	134	2.25	10.00	0.04	14	148
05 ウォーキング	115	2.63	8.00	0.04	3	118
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	86	3.91	10.00	0.04	3	89
12 筋力トレーニング	46	2.62	7.02	0.06	2	48
43 ハイキング	43	0.25	2.00	0.02	5	48
16 ゴルフ（コース）	44	0.25	1.00	0.02	3	47
25 水泳	45	0.94	4.00	0.02	1	46
17 ゴルフ（練習場）	35	0.48	3.00	0.04	2	37
50 ボウリング	33	0.12	0.92	0.02	2	35
18 サイクリング	25	1.70	10.00	0.06	4	29
40 テニス（硬式テニス）	28	0.96	5.00	0.02	0	28
回答数	634	1.92	10.00	0.02	39	673

#### 種目別実施強度（上位 11 種目）

本人の認識としてどのくらいの強さ（実施強度）で運動・スポーツを行っているかを整理すると、体操、筋力トレーニング、散歩、ウォーキングなどは比較的強度が低くなる。

	回答数	平均値	最大値	最小値	無回答	合計
21 散歩（ぶらぶら歩き）	146	53.20	360.00	2.00	2	148
05 ウォーキング	118	56.87	360.00	1.00	0	118
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	88	21.19	120.00	3.00	1	89
12 筋力トレーニング	48	44.38	180.00	5.00	0	48
43 ハイキング	43	191.16	360.00	10.00	5	48
16 ゴルフ（コース）	45	272.69	600.00	1.00	2	47
25 水泳	45	66.56	180.00	10.00	1	46
17 ゴルフ（練習場）	36	69.31	120.00	30.00	1	37
50 ボウリング	34	83.82	180.00	30.00	1	35
18 サイクリング	29	77.93	300.00	10.00	0	29
40 テニス（硬式テニス）	27	108.89	240.00	30.00	1	28
回答数	659	79.67	600.00	1.00	14	673

（注）スコアは、「かなり楽である」と回答した人に 1 点、以下 1 点ずつ加え、「かなりきつい」と回答した人に 5 点を付与し、回答者数の平均を算出したもの。

## スポーツの実施レベル

参考までにスポーツへの関与実態をレベル分けして分類する。レベル4以上が、上記の実施率算出において、「スポーツに参加している」と定義された人となる。

レベル	定義
1	Q2で回数、時間ともに無回答の人（スポーツを全くしていない人）
2	短時間のスポーツをしている人（全体からレベル1、3、4、5、6を除いた人）
3	1回30分以上のスポーツを、年1回以上週1回未満している人（年1～51回）
4	1回30分以上のスポーツを、週1回以上2回未満している人（年52～103回）
5	1回30分以上のスポーツを、週2回以上している人（年104回以上）
6	レベル5の人で、かつそのスポーツの実施強度が「ややきつい」以上の人（アクティブスポーツ人口と呼ばれる人）

この分類によると、回答者にとってはレベル6（アクティブスポーツ人口）が2割弱を占めているが、これは全国値13.3%（SSF 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2002）と比べて多いものである。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	回答数
実施している	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 29.3%	76 37.1%	69 33.7%	205 100.0%
実施していない	83 46.1%	14 7.8%	83 46.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	180 100.0%
回答数	83 21.6%	14 3.6%	83 21.6%	60 15.6%	76 19.7%	69 17.9%	385 100.0%
参考 SSF 笹川スポーツ財団	725 32.0%		827 36.5%		413 18.2%	302 13.3%	2,267 100.0%

ただし、レベル毎にスポーツの実施内容を整理すると、レベル6（アクティブスポーツ人口）といっても、散歩やウォーキング、体操を行っている人が多いのが実態である。

	01 アイ ススケー ト	02 アク アエクサ サイズ	03 イン ディアカ	04 イン ラインス ケート	05 ウォーキ ング	06 エア ロビック ダンス	07 海水 浴	08 カ ヌー	09 空手
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%
レベル3	0 0.0%	3 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	25 30.1%	6 7.2%	13 15.7%	1 1.2%	0 0.0%
レベル4	1 1.7%	4 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	30 50.0%	4 6.7%	7 11.7%	0 0.0%	0 0.0%
レベル5	0 0.0%	11 14.5%	1 1.3%	0 0.0%	41 53.9%	4 5.3%	9 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
レベル6	1 1.4%	6 8.7%	4 5.8%	1 1.4%	39 56.5%	4 5.8%	12 17.4%	2 2.9%	2 2.9%
回答数	2 0.5%	24 6.3%	5 1.3%	2 0.5%	137 36.1%	18 4.7%	41 10.8%	4 1.1%	2 0.5%
	10 キャッチ ボール	11 キャ ンプ	12 筋力 トレーニング	13 グラ ウンドゴ ルフ	14 ゲー トボール	15 剣道	16 ゴル フ(コー ス)	17 ゴル フ(練習 場)	18 サイ クリング
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%
レベル3	7 8.4%	6 7.2%	12 14.5%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	17 20.5%	15 18.1%	8 9.6%
レベル4	4 6.7%	2 3.3%	14 23.3%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	10 16.7%	13 21.7%	9 15.0%
レベル5	4 5.3%	4 5.3%	6 7.9%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	9 11.8%	8 10.5%	8 10.5%
レベル6	7 10.1%	4 5.8%	24 34.8%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%	13 18.8%	13 18.8%	10 14.5%
回答数	22 5.8%	16 4.2%	56 14.8%	5 1.3%	1 0.3%	1 0.3%	50 13.2%	50 13.2%	39 10.3%
	19 サッ カー	20 サー フィン	21 散歩 (ぶらぶ ら歩き)	22 柔道	23 乗馬	24 ジョギ ング・ラン ニング	25 水泳	26 水上 バイク	27 社交 ダンス
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	5 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	8 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
レベル3	3 3.6%	1 1.2%	46 55.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.0%	15 18.1%	0 0.0%	2 2.4%
レベル4	2 3.3%	0 0.0%	40 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	8 13.3%	10 16.7%	0 0.0%	1 1.7%
レベル5	0 0.0%	1 1.3%	53 69.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	15 19.7%	1 1.3%	1 1.3%
レベル6	4 5.8%	4 5.8%	42 60.9%	1 1.4%	0 0.0%	11 15.9%	18 26.1%	0 0.0%	1 1.4%
回答数	9 2.4%	6 1.6%	194 51.2%	1 0.3%	0 0.0%	27 7.1%	60 15.8%	1 0.3%	5 1.3%
	28 ス キー	29 ス クーパー ダイビン グ	30 ス ノーボ ード	31 ソフト テニス(軟 式テニス)	32 ソフ トバレー ボール	33 ソフ トボール	34 太極 拳	35 体操 (軽い体操 ・ラジオ体 操)	36 体操 競技(器 械体操)
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.9%	1 1.3%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%
レベル3	9 10.8%	0 0.0%	3 3.6%	1 1.2%	0 0.0%	2 2.4%	2 2.4%	16 19.3%	0 0.0%
レベル4	4 6.7%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.3%	0 0.0%	2 3.3%	3 5.0%	23 38.3%	0 0.0%
レベル5	5 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	2 2.6%	2 2.6%	3 3.9%	34 44.7%	1 1.3%
レベル6	6 8.7%	1 1.4%	6 8.7%	2 2.9%	3 4.3%	2 2.9%	1 1.4%	29 42.0%	2 2.9%
回答数	24 6.3%	2 0.5%	9 2.4%	6 1.6%	5 1.3%	8 2.1%	9 2.4%	109 28.8%	4 1.1%

	37 卓球	38 つな 引き	39 釣り	40 テニ ス(硬式 テニス)	41 登山	42 なわ とび	43 ハイ キング	44 バス ケット ボール	45 バド ミントン
レベル1	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
レベル3	9 10.8%	1 1.2%	9 10.8%	11 13.3%	1 1.2%	2 2.4%	11 13.3%	3 3.6%	4 4.8%
レベル4	3 5.0%	2 3.3%	3 5.0%	11 18.3%	2 3.3%	1 1.7%	15 25.0%	2 3.3%	4 6.7%
レベル5	5 6.6%	0 0.0%	3 3.9%	4 5.3%	7 9.2%	3 3.9%	23 30.3%	1 1.3%	3 3.9%
レベル6	6 8.7%	2 2.9%	7 10.1%	9 13.0%	6 8.7%	4 5.8%	16 23.2%	3 4.3%	4 5.8%
回答数	24 6.3%	5 1.3%	23 6.1%	36 9.5%	17 4.5%	10 2.6%	67 17.7%	9 2.4%	15 4.0%
	46 バ レーボ ール	47 ハン ドボ ール	48 フッ トサ ル	49 フラ イン グ ディ スク	50 ボウ リン グ	51 ボク シン グ	52 ボー ト・漕 艇	53 ボー ドセ ーリ ング	54 野球
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
レベル3	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	2 2.4%	25 30.1%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	7 8.4%
レベル4	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	7 11.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
レベル5	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	1 1.3%
レベル6	4 5.8%	1 1.4%	3 4.3%	1 1.4%	14 20.3%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%
回答数	6 1.6%	2 0.5%	6 1.6%	3 0.8%	54 14.2%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	11 2.9%
	55 ヨー ガ	56 ヨッ ト	57 ラグ ビー	58 陸上 競技	59 ロー ドレ ース(マ ラソン等)	60 ロー ラース ケート	61 その 他1	62 その 他2	63 その 他3
レベル1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
レベル2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
レベル3	2 2.4%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.2%	1 1.2%	0 0.0%
レベル4	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	3 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
レベル5	6 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 9.2%	2 2.6%	0 0.0%
レベル6	5 7.2%	1 1.4%	2 2.9%	1 1.4%	2 2.9%	1 1.4%	7 10.1%	1 1.4%	0 0.0%
回答数	14 3.7%	3 0.8%	3 0.8%	1 0.3%	3 0.8%	1 0.3%	25 6.6%	4 1.1%	0 0.0%
	99 行わ なかった	回答数	無回答	合計	回答合計				
レベル1	69 89.6%	77 100.0%	6	83	85				
レベル2	0 0.0%	14 100.0%	0	14	28				
レベル3	0 0.0%	83 100.0%	0	83	319				
レベル4	0 0.0%	60 100.0%	0	60	254				
レベル5	0 0.0%	76 100.0%	0	76	300				
レベル6	0 0.0%	69 100.0%	0	69	382				
回答数	69 18.2%	379 100.0%	6	385	1,368				

種目別使用施設（上位 11 種目）

回答者は、散歩、ウォーキング、サイクリングは主として公道で、また体操や筋力トレーニングは主として自宅で行っている。

	1 体育館	2 屋内プール	3 屋外プール	4 陸上競技場	5 グラウンド	6 野球・ソフトボール場	7 武道館	8 ダンススタジオ	9 トレーニングルーム
21 散歩（ぶらぶら歩き）	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%
05 ウォーキング	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	3 2.9%	0 0.0%	4 3.8%
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	7 9.9%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	2 2.8%
12 筋力トレーニング	3 7.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	18 41.9%
43 ハイキング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
16 ゴルフ（コース）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
25 水泳	1 2.3%	30 69.8%	7 16.3%	1 2.3%	3 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%
17 ゴルフ（練習場）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50 ボウリング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
18 サイクリング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
40 テニス（硬式テニス）	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
回答数	15 2.6%	32 5.6%	8 1.4%	1 0.2%	8 1.4%	0 0.0%	10 1.8%	1 0.2%	26 4.6%
	10 テニスコート	11 ゴルフ場（コース）	12 ゴルフ場（練習場）	13 ボウリング場	14 スキー場	15 ゲートボール場	16 サイクリングコース	17 道路	18 公園
21 散歩（ぶらぶら歩き）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100 79.4%	12 9.5%
05 ウォーキング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	86 82.7%	3 2.9%
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.8%
12 筋力トレーニング	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
43 ハイキング	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 45.5%	9 40.9%
16 ゴルフ（コース）	0 0.0%	40 93.0%	0 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
25 水泳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
17 ゴルフ（練習場）	0 0.0%	0 0.0%	32 97.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50 ボウリング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 96.9%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
18 サイクリング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	21 77.8%	0 0.0%
40 テニス（硬式テニス）	20 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
回答数	21 3.7%	41 7.2%	34 6.0%	31 5.5%	1 0.2%	0 0.0%	2 0.4%	218 38.4%	26 4.6%
	19 河川敷	20 海岸	21 自宅（庭・室内）	22 その他	回答数				
21 散歩（ぶらぶら歩き）	0 0.0%	9 7.1%	2 1.6%	0 0.0%	126 100.0%				
05 ウォーキング	1 1.0%	4 3.8%	1 1.0%	0 0.0%	104 100.0%				
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	0 0.0%	0 0.0%	54 76.1%	0 0.0%	71 100.0%				
12 筋力トレーニング	0 0.0%	0 0.0%	19 44.2%	0 0.0%	43 100.0%				
43 ハイキング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%				
16 ゴルフ（コース）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%				
25 水泳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%				
17 ゴルフ（練習場）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%				
50 ボウリング	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%				
18 サイクリング	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%				
40 テニス（硬式テニス）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	24 100.0%				
回答数	1 0.2%	15 2.6%	77 13.6%	0 0.0%	568 100.0%				

### 種目別使用施設のタイプ（上位 11 種目）

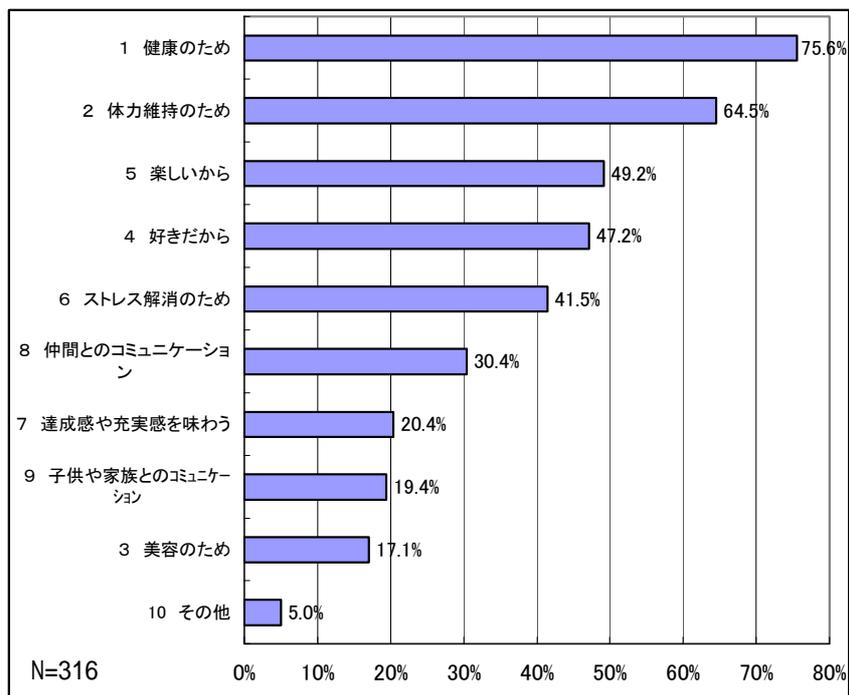
また、散歩、ウォーキング、サイクリングなどにおいては、公道以外では鎌倉市内の公共施設が、水泳では鎌倉市外の公共施設が、ゴルフやボウリング、テニス、筋力トレーニング（自宅以外）などは民間施設がしばしば使われている。

	1 鎌倉 市内の公 共の施設	2 鎌倉 市外の公 共の施設	3 小・中・高の学 校施設	4 大学・ 高専等の 学校施設	5 民間 の施設	6 職場 の施設	7 その他	回答数
21 散歩（ぶらぶら歩き）	32 45.1%	4 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	1 1.4%	32 45.1%	71 100.0%
05 ウォーキング	27 45.8%	2 3.4%	1 1.7%	0 0.0%	7 11.9%	0 0.0%	22 37.3%	59 100.0%
35 体操（軽い体操・ラジオ体操）	8 16.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	6 12.0%	5 10.0%	30 60.0%	50 100.0%
12 筋力トレーニング	4 11.4%	3 8.6%	0 0.0%	1 2.9%	17 48.6%	1 2.9%	9 25.7%	35 100.0%
43 ハイキング	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	17 77.3%	22 100.0%
16 ゴルフ（コース）	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	34 94.4%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
25 水泳	2 5.6%	11 30.6%	1 2.8%	1 2.8%	20 55.6%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
17 ゴルフ（練習場）	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	28 96.6%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
50 ボウリング	2 6.9%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	26 89.7%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
18 サイクリング	7 43.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	5 31.3%	16 100.0%
40 テニス（硬式テニス）	4 20.0%	2 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 50.0%	1 5.0%	2 10.0%	20 100.0%
回答数	90 22.3%	26 6.5%	3 0.7%	3 0.7%	154 38.2%	8 2.0%	119 29.5%	403 100.0%

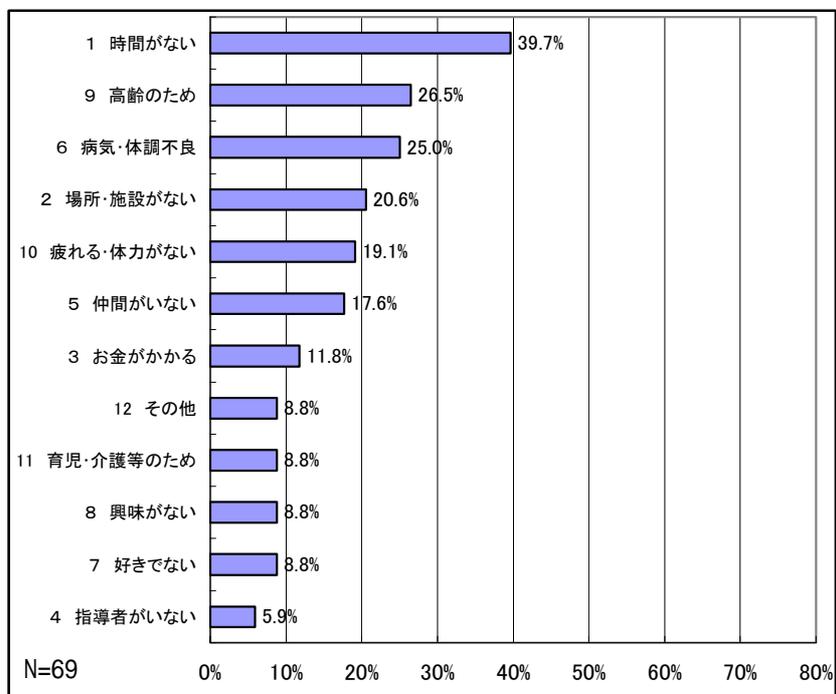
## スポーツを行った理由、行っていない理由

### スポーツの実施理由、非実施理由

回答者は、「健康のため」や「体力維持のため」に運動・スポーツを行っている。

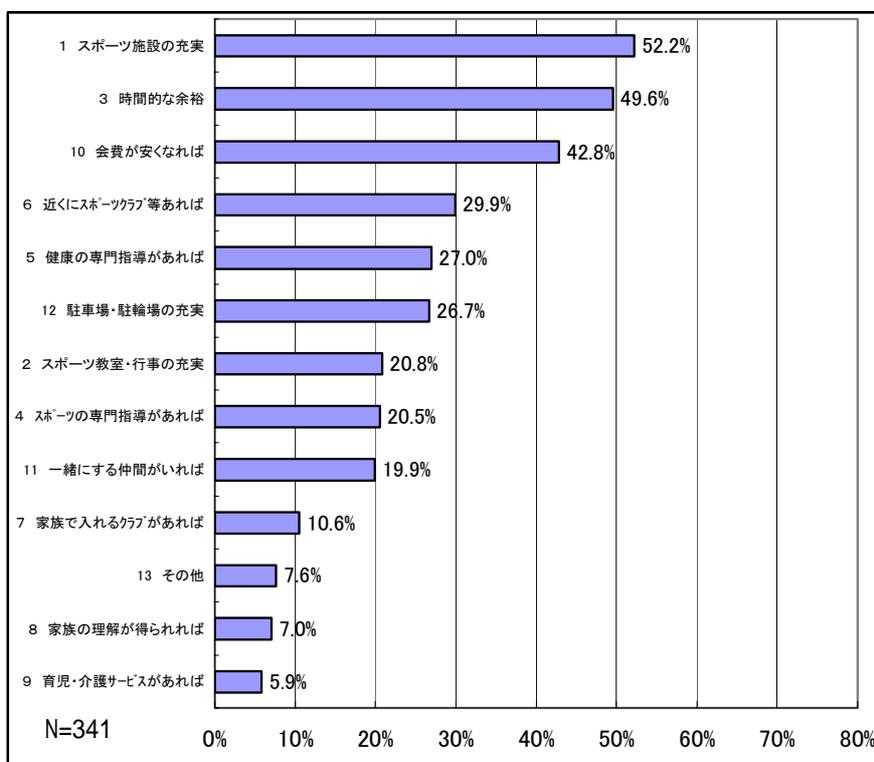


一方、行わない理由としては、「時間がない」「高齢のため」「病気・体調不良」など、主として個人的な理由が多くあげられている。



どのような条件が整えばいっそうスポーツを行ってみたいか（複数回答）

どのような条件が整えば運動・スポーツを行ってみたいかについては、スポーツ非実施理由では4位であった場所・施設（ここでは「スポーツ施設の充実」）が最も多くあげられている。



次に、スポーツ実施レベル別に整理する。ここで、スポーツ実施率の向上を図るために対象とすると効果的と思われるレベル3に着目すると、「スポーツ施設の充実」「時間的な理由」「会費が安くなれば」「駐車場・駐輪場の充実」「近くにスポーツクラブ等があれば」「一緒にする仲間がいれば」などが、多くあげられている。

また、もっともスポーツから離れていると考えられるレベル1では、「時間的な理由」がもっとも多くあげられており、一方、すでに相当のスポーツを行っていると考えられるレベル6では、「スポーツ施設の充実」「会費が安くなれば」「時間的な理由」「スポーツの専門指導があれば」「健康の専門指導があれば」などが多くあげられている。

	1 スポーツ施設の充実	2 スポーツ教室・行事の充実	3 時間的な余裕	4 スポーツの専門指導があれば	5 健康の専門指導があれば	6 近くにスポーツクラブ等あれば	7 家族で入れるクラブがあれば	8 家族の理解が得られれば	9 育児・介護サービスがあれば
レベル1	19 32.8%	6 10.3%	29 50.0%	8 13.8%	16 27.6%	13 22.4%	2 3.4%	6 10.3%	5 8.6%
レベル2	3 25.0%	3 25.0%	8 66.7%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%
レベル3	46 60.5%	17 22.4%	43 56.6%	11 14.5%	14 18.4%	27 35.5%	12 15.8%	3 3.9%	3 3.9%
レベル4	33 56.9%	15 25.9%	34 58.6%	7 12.1%	11 19.0%	19 32.8%	8 13.8%	3 5.2%	2 3.4%
レベル5	40 55.6%	17 23.6%	28 38.9%	19 26.4%	26 36.1%	22 30.6%	5 6.9%	4 5.6%	5 6.9%
レベル6	37 56.9%	13 20.0%	27 41.5%	24 36.9%	21 32.3%	20 30.8%	8 12.3%	4 6.2%	4 6.2%
回答数	178 52.2%	71 20.8%	169 49.6%	70 20.5%	92 27.0%	102 29.9%	36 10.6%	24 7.0%	20 5.9%
	10 会費が安くなれば	11 一緒にする仲間がいれば	12 駐車場・駐輪場の充実	13 その他	回答数	無回答	合計	回答合計	
レベル1	13 22.4%	13 22.4%	11 19.0%	4 6.9%	58 100.0%	25	83	145	
レベル2	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	12 100.0%	2	14	36	
レベル3	42 55.3%	19 25.0%	29 38.2%	3 3.9%	76 100.0%	7	83	269	
レベル4	22 37.9%	11 19.0%	18 31.0%	6 10.3%	58 100.0%	2	60	189	
レベル5	33 45.8%	7 9.7%	13 18.1%	7 9.7%	72 100.0%	4	76	226	
レベル6	33 50.8%	16 24.6%	17 26.2%	4 6.2%	65 100.0%	4	69	228	
回答数	146 42.8%	68 19.9%	91 26.7%	26 7.6%	341 100.0%	44	385	1,093	

## スポーツボランティアについて

### ボランティア経験

回答者の中でこの1年間にボランティア活動をした人は1割弱である。

1 はい	2 いいえ	回答計
28 8.1%	316 91.9%	344 100.0%

内容（ボランティアをした人）

1 スポーツの指導	2 教室・行事の運営や世話	3 その他	回答計
9 32.1%	17 60.7%	4 14.3%	28 100.0%

ボランティアをしなかった理由（ボランティアをしなかった人：複数回答）

しなかった理由としては「時間がない」がもっとも多いが、「参加方法がわからない」と回答する人も多い。

1 時間がない	2 体力がない	3 興味がない	4 参加してみたいものがない	5 参加方法がわからない	6 その他	回答計
133 42.6%	79 25.3%	76 24.4%	43 13.8%	98 31.4%	32 10.3%	312 100.0%

ボランティアを今後したいと思うか

ボランティアの今後の参加意向については、「ぜひしたい」「機会があればしたい」と考える人が約半数を占める。

1 ぜひしたい	2 機会があればしたい	3 したくない	4 興味がない	回答計
16 5.0%	156 48.3%	97 30.0%	54 16.7%	323 100.0%

## 鎌倉市のスポーツ振興施策について

### 認知度

回答者における鎌倉市のスポーツ振興施策に対する認知度は3割弱である。

1 はい	2 いいえ	3 関心がない	回答計
93 27.3%	228 66.9%	20 5.9%	341 100.0%

### 内容

認知している人にその内容をたずねると、「各種スポーツ教室・行事開催」をあげる人が8割を占めるが、「学校体育施設の開放」についても7割弱と多くの人が認識している。

1 各種スポーツ教室・行事開催	2 地域クラブ・サークルの育成	3 スポーツ指導者の育成	4 学校体育施設の開放	5 スポーツラナイア等への支援	6 健康・体力相談	回答計
75 81.5%	28 30.4%	23 25.0%	63 68.5%	11 12.0%	27 29.3%	92 100.0%

### 満足度

施策に関する満足度については、「どちらともいえない」とする人が過半を占めるが、一方で「不満である」人も1/3を占める。

1 満足である	2 どちらともいえない	3 不満である	回答計
9 3.0%	186 62.6%	102 34.3%	297 100.0%

### 不満な理由（複数回答）

「不満である」と回答した人にその理由をたずねると、「スポーツ施設が不十分」「情報提供が不十分」をあげる人が多い。

1 スポーツ施設が不十分	2 情報提供が不十分	3 参加したい教室・行事がない	4 育児・介護の環境が整わず	5 その他	回答計
73 71.6%	65 63.7%	34 33.3%	10 9.8%	14 13.7%	102 100.0%

## 鎌倉市のスポーツ施設について

### 施設に対する評価

鎌倉市のスポーツ施設に関する評価をたずねると、「わからない」と回答する人が過半を占めるが、一方で「数も整備内容も不十分」とする人が1/3を占める。

1 数も整備内容も十分	2 数はあるが整備内容不十分	3 数は少ないが整備内容十分	4 数も整備内容も不十分	5 わからない	6 その他	回答計
8 2.4%	8 2.4%	13 3.9%	110 32.7%	186 55.4%	11 3.3%	336 100.0%

### 利用頻度

鎌倉市のスポーツ施設の利用頻度については、「利用したことはない」が大半を占めている。

1 週に2~3回程度	2 週に1回程度	3 月に2~3回程度	4 月に1回程度	5 半年に数回程度	6 1年に1回程度	7 数年に1回程度	8 利用したことはない	回答計
4 1.2%	19 5.6%	11 3.2%	11 3.2%	15 4.4%	17 5.0%	31 9.1%	233 68.3%	341 100.0%

利用頻度を地域別に整理すると、腰越地域の「利用したことはない」人が多いことが特徴的である。

	1 週に2~3回程度	2 週に1回程度	3 月に2~3回程度	4 月に1回程度	5 半年に数回程度	6 1年に1回程度	7 数年に1回程度	8 利用したことはない	回答数
1 鎌倉地域	0 0.0%	4 3.5%	6 5.3%	4 3.5%	5 4.4%	5 4.4%	10 8.8%	79 69.9%	113 100.0%
2 腰越地域	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.9%	4 6.9%	2 3.4%	3 5.2%	43 74.1%	58 100.0%
3 深沢地域	3 5.8%	7 13.5%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.8%	4 7.7%	33 63.5%	52 100.0%
4 大船地域	0 0.0%	4 5.6%	2 2.8%	2 2.8%	1 1.4%	4 5.6%	8 11.1%	51 70.8%	72 100.0%
5 玉縄地域	1 2.4%	3 7.3%	1 2.4%	1 2.4%	4 9.8%	3 7.3%	6 14.6%	22 53.7%	41 100.0%
回答数	4 1.2%	19 5.7%	11 3.3%	11 3.3%	15 4.5%	17 5.1%	31 9.2%	228 67.9%	336 100.0%

また、職業（就業状態）別に整理すると、無職、専業主婦、市外に勤務する人などの利用頻度が低くなっている。

	1 週に2~3回程度	2 週に1回程度	3 月に2~3回程度	4 月に1回程度	5 半年に数回程度	6 1年に1回程度	7 数年に1回程度	8 利用したことはない	回答数
勤務先は市内	2 3.7%	5 9.3%	2 3.7%	2 3.7%	2 3.7%	6 11.1%	9 16.7%	26 48.1%	54 100.0%
勤務先は市外	0 0.0%	0 0.0%	4 4.6%	2 2.3%	6 6.9%	7 8.0%	9 10.3%	59 67.8%	87 100.0%
通学先は市内	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
通学先は市外	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	4 50.0%	8 100.0%
専業主婦	1 1.0%	10 10.4%	4 4.2%	3 3.1%	3 3.1%	3 3.1%	6 6.3%	66 68.8%	96 100.0%
無職	1 1.2%	2 2.4%	1 1.2%	4 4.8%	2 2.4%	0 0.0%	3 3.6%	71 84.5%	84 100.0%
回答数	4 1.2%	17 5.2%	11 3.3%	11 3.3%	15 4.6%	16 4.9%	29 8.8%	226 68.7%	329 100.0%

## 今後の推進方策

鎌倉市が今後、スポーツ振興を図る際に重視すべきこととして、「各世代が楽しめる」「施設の新設・改築」「高齢者の健康づくり」「自然環境での教室」「子どもの健康づくり」といったキーワードに代表される取組みが期待されている。

	1 各世代が楽しめる運動充実	2 子どもの健康づくりの促進	3 高齢者の健康づくりの促進	4 障害者の健康づくりの促進	5 スポーツ障害の予防	6 スポーツ施設のバリアフリー化	7 自然環境での教室等の充実	8 自治会、子供会のスポーツ充実	9 派遣、委嘱の指導者の確保	10 関連各種団体への支援	11 スポーツ施設の新設、改築	12 学校体育施設の開放	13 民間保有スポーツ施設開放	14 民間のスポーツ教室・行事提供	15 民間スポーツビジネスとの連携	16 スポーツ施設への住民の参加	17 スポーツ施設への住民の評価	18 その他	回答計
1位	83	34	50	3	1	3	19	6	4	2	63	8	6	4	7	5	0	5	303
2位	35	14	41	11	4	7	41	12	13	1	26	20	17	15	7	5	0	7	276
3位	21	9	21	11	2	13	22	12	14	4	23	20	19	10	25	18	2	5	251
スコア	340	139	253	42	13	36	161	54	52	12	264	84	71	52	60	43	2	34	

(注) スコアは、1位に3点、2位に2点、3位に1点を付与し、合計点を算出。

## 総合型地域スポーツクラブについて

### 認知度

総合型地域スポーツクラブについては、「知らない」人が8割弱を占める。

1 よく知っている	2 名前を聞いたことがある程度	3 知らない	回答計
10 3.0%	61 18.5%	258 78.4%	329 100.0%

### 加入希望

総合型地域スポーツクラブへの加入については、「条件次第で加入したい」とする人が6割弱を占める。

1 すでに加入している	2 是非加入したい	3 条件次第で加入したい	4 加入したくない	5 わからない	回答計
1 0.3%	40 12.2%	188 57.3%	34 10.4%	65 19.8%	328 100.0%

### 3. ワークショップ「鎌倉市のスポーツ振興の将来展望」の概要

平成 16 年 12 月 11 日（土曜日）鎌倉市役所講堂においてワークショップ「鎌倉市のスポーツ振興の将来展望」が開催されました。

「広報かまくら」などによって市民の参加をお願いしたところ、27 名の方にご出席頂き、長時間におよぶ活発な議論が行われました。

以下にワークショップの概要についてまとめます。

#### テーマ（1）鎌倉市のスポーツに関する課題と解決に向けたアイディア

鎌倉市のスポーツ環境について自由に意見や提言を出して頂きました。

〔出された意見とその分類〕

（スポーツの活性化）

##### スポーツ振興の考え方

- ・ 地域密着のスポーツクラブなど、地域でみんなで楽しめるものが必要である。
- ・ 例えば、公園でボールを使ってはいけないというように、スポーツを禁止しすぎないということも必要である。危険の予防は必要だが、適度なものとするのが重要である。
- ・ コミュニティが機能していないため、地域のスポーツにはなかなか参加できない。
- ・ コミュニティでスポーツを応援することが必要ではないか。
- ・ スポーツに向く人と向かない人がおり、スポーツ参加について一律に議論することはできないだろう。

##### 健康づくりの考え方

- ・楽しむためのスポーツと、健康づくりのためのスポーツは別のものである。

##### スポーツ団体のあり方

- ・ スポーツのチーム数が多すぎて、指導者の数や質もバラバラではないか。
- ・ スポーツ団体を再編成することが検討されてもよいのではないか。

##### 子供のスポーツ促進

- ・ 子どもが外に出ないといった問題がある。遊び方がわからないうえ、遊び場も乏しいことが原因ではないか。
- ・ 子どものスポーツには、昔ながらの「遊び」も対象に含め、基礎体力づくりに役立つものとして評価するべきではないか。
- ・ 成長期の子どもには「蹴る」「投げる」といった機会を小学生につくることで、全身の発育を促していく必要がある。

##### 市民運動会への参加

- ・ 子どもを対象としているため、子どもがいない世帯は参加しない。市民運動会の開催時期も柔軟に見直した方がよいのではないか。
- ・ “地域みんなで”ということを考えて開催すべきである。
- ・ 市民運動会には自治会や学校も参加すべきである。
- ・ “市民運動会は楽しい”ということをアピールしたらどうか。

### 幅広い年齢層の参加

- ・ 全ての世代を対象にしてスポーツの場の提供を考えるべきである。
- ・ スポーツの実施率の低い男性に限定したスポーツ教室を開催してみたらどうか。
- ・ 高齢者や母親もまきこんだスポーツのあり方が必要である（ふれあいの重視）。
- ・ 参加の少ない人をスポーツに参加させるためには、魅力のある運動会を開催することも検討されてよい。

### 障害者・高齢者向けスポーツ

- ・ 高齢者、障害者、スポーツが苦手な人への健康づくりをどう考えるか。
- ・ スポーツ施設よりもトレーナーの方がむしろ必要ではないか。
- ・ 車椅子、障害者への配慮をするべきである。企画、設計する際に障害者も参加した方がよい。
- ・ 外に出たくない人を対象にした自宅でのスポーツ指導を充実する。

### 体育指導員派遣制度の活用

- ・ 指導員の派遣制度は普及していないが活用すべきである。
- ・ 例えば藤沢市のように、ホームページで体育指導員に関する情報がわかるようにしてほしい。

### 体育指導員・地域リーダーの育成

- ・ 地域リーダーの資質向上のため、リーダーによる自主研修を行政として支援すべきである。
- ・ スポーツの指導者を育成するための事業が必要である。
- ・ 市が単独で指導者を育成することが困難な場合には、広域のスクール形態による取組みを検討すべきである。

## （情報提供）

### 情報提供の方法

- ・ 市の広報を見る市民は限られており、市のホームページもあまり充実していない。
- ・ スポーツに関する情報は、町内会への回覧など、周知方法を工夫する必要があるのではないか。
- ・ 市で独自にスポーツ情報誌を発行してほしい。
- ・ スポーツに興味のない人を対象にした広報の仕方も検討すべきである。
- ・ 市だけではなくスポーツ団体自らが情報発信を行うことも必要である。

### スポーツ施設に関する情報提供

- ・ スポーツ施設の整備について中長期の計画がどのようなものか情報提供が必要である。

## （スポーツプログラム）

### スポーツ教室等のあり方

- ・ スポーツの高いレベルについていけない人には、それに相応しい受け皿となるサークルが必要ではないか。
- ・ スキルアップに応じて次の段階への移行ができるプログラムであることが必要である。
- ・ 現在の教室は対象年齢などの幅が広すぎできめ細かい指導ができないのではないか。

- ・ スポーツ教室にはどのような人が来ているのかという対象者の分析を行うべきではないか。

#### スポーツプログラムの利用促進

- ・ 市によるスポーツ団体に関する情報の提供が不十分である。
- ・ 市民の誰もが参加しやすい環境づくりが必要である。
- ・ 市主催のスポーツ教室に関する情報提供が必要である。

#### 新たなスポーツプログラムの充実

- ・ 海岸の地域性を活かしたスポーツイベントを行って欲しい。
- ・ オフシーズン（冬季）にもスポーツに触れる機会が必要である。
- ・ 個人で気軽に参加できるような受入れ体制が必要である。

### （スポーツ施設）

#### 施設の数・質

- ・ 市内にスポーツ施設が足りない。
- ・ 武道館で可能な種目は限られてくるので利用に制約がある。
- ・ スポーツ施設を有効利用できる方策が必要である。
- ・ あらゆるスポーツ、あらゆる利用者、あらゆる使い方を考えた多目的な施設が必要である。
- ・ 地域に適切にスポーツ施設が配置されていない。

#### 既存施設の状況

- ・ 施設管理が厳しすぎ、過剰な制約ではないかと感じる。
- ・ 同好の閉じたサークルが増えており、初めて参加するというわけにはいかない。

#### 既存施設の柔軟な利用

- ・ 利用時間、利用者、利用場所を見直し、利用者の使い方に合った柔軟なものとする。
- ・ 2時間単位での利用区分を見直すほか、利用者間での話し合いによりみんなが一緒に活動できるようにするべきではないか。
- ・ 公共施設にある畳敷きの部屋をスポーツ向けに開放したらどうか。
- ・ 公会堂や公民館のように地域でいつでも集まれる場所をスポーツ向けに開放する。
- ・ 海や山など、施設がなくてもお金がかからない方法を考えるべき。
- ・ 市の施設にはどんなものがあり、どのような利用が可能かを整理するべきである。
- ・ 空いている学校の教室についての情報提供や開放の拡大が必要である。

#### 学校・企業の施設利用

- ・ 企業の施設の一般開放を利用したい。
- ・ 市として企業にスポーツ施設の開放を働きかけて欲しい。
- ・ 学校や体育館の利用開放を促進して欲しい。
- ・ 管理方法を工夫することで、学校は平日も施設を開放してよいのではないか。

#### 施設の運営

- ・ ゴミの余熱利用などいろいろな方法で施設の運営コストを下げたらどうか。
- ・ ボランティアを活用できないか。
- ・ 発想を変えて、スポーツ施設の利用は有料化することも検討すべきである。

## 施設整備の方向

- ・他市とスポーツ交流できる研修・宿泊施設があったほうがよい。
- ・県の施設を誘致することも検討すべきである。国や民間との連携を考える。
- ・長期的な視野で施設の確保を考えるべきである。
- ・小学校の統廃合で土地が空いたところや企業跡地を施設整備に活用する。
- ・施設には駐車場が必要である。

## テーマ（２）鎌倉市のスポーツの将来像について

鎌倉市が今後目指すべきスポーツに関する将来像などはどのようなものか、自由に意見を出して頂きました。

提案項目	提案された内容
都市像に関する キャッチフレーズ	<p><u>（スポーツの効果）</u> 「子供がいきいきする町」「市民皆（快）スポーツ」「ラブリースポーツ」「夢のもてるまち」「わくわく」「ドキドキ」「プレイボール、さあ野球を楽しみましょう」「レッツプレイ」「スポーツを愛するまち」「いきいきと過ごす」</p> <p><u>（鎌倉らしさ）</u> 「古都には古都らしからぬ はつらつ市民」「明るさ、太陽、海・山をモチーフ」「文化的に名高い」「すこやかに老いる」「子供、親子、高齢者 ふれあいスポーツ」「おじいちゃん海に連れて行って」「寝たきり0（ゼロ）の町」</p>
鎌倉における スポーツの考え方 （理念）	<p><u>（高齢者をはじめとするあらゆる人の参加）</u> 「障害者が安心して利用できるスポーツ」「障害者スポーツの活性化」「障害の有無を越えて」「年齢を越えて」「全市民のための」「高齢者に対する予防医学」「元気な高齢社会」「あらゆる年齢層の人の参加」 ・ 「高齢者から子供まで三世代がともに行う生涯スポーツの普及（いつでもどこでもだれでも）」「介護予防」</p> <p><u>（自然環境）</u> 「自然環境を活かした鎌倉らしいスポーツ施設づくり」「自然の地形を活かしたスポーツ」「スポーツも大切な文化」</p> <p><u>（地域とスポーツ）</u> 「地区のスポーツの活性化」「スポーツを通じ交流を図れる街づくり」「日常生活の中に自然なかたちでスポーツができるまちづくり」</p> <p><u>（民間との連携）</u> 「民間の力も借り、正しいスポーツ教育」</p> <p><u>（国際交流）</u> 「スポーツで国際交流」</p> <p><u>（スポーツの参加促進）</u> 「運動に参加したがない方の参加を促す」「子供、高齢者へのスポ</p>

	<p>ーツ参加の呼びかけ」</p>
<p>鎌倉で今後行うべきと考えられる 具体的施策</p>	<p><u>(指導者育成支援)</u> 「子供たちの励みになるような指導者育成」「リーダー会活動への援助」</p> <p><u>(プログラム開発)</u> 「子供の基礎体力向上のためのプログラム」「高齢者・障害者向けプログラム」「子供、老人、障害者等レベルにあわせたプログラムづくり」「子供のスポーツ授業カリキュラムの充実」「体力向上のためのイベント」</p> <p><u>(施設整備)</u> 「球場の整備」「施設の充実」「スポーツ施設への託児施設併設」「野村総研及び大船技工跡地の利用」</p> <p><u>(鎌倉らしさの演出)</u> 「海を活用したイベント」</p> <p><u>(情報発信：市の姿勢)</u> 「市としてスポーツ振興のアピール」「具体的なスポーツ施策を明確に」「スポーツ活性化についてのホームページ」</p> <p><u>(情報発信：具体的情報)</u> 「高齢者に自宅でできる簡単な運動の紹介」「サークルのガイドブックの作成」「スポーツに関するチラシの作成」</p>

## 4．市内のスポーツに関する団体インタビューの概要

平成 16 年 9 月から 11 月までの間、市内のスポーツに関する団体にインタビューを行い、今後の市のスポーツに対する取組みや協働関係のあり方についてお話を伺いました。

お話を伺った団体は合計 18 団体で、内訳は、スポーツ団体・7 団体、民間企業・4 団体、学校・2 校、地域の団体・2 団体、その他公益団体など・3 団体です。

以下にインタビューの概要についてまとめます。

### 〔スポーツ団体〕

#### 1．団体が抱える課題

財政面、会員の確保は、課題としているところと問題ないとしているところがある。

その他に、団体と学校とのつながりが無い、場所の確保が難しい、砂浜がなくなりつつある、広報媒体が不十分であるため広く情報提供が行えない等の意見があった。

#### 2．鎌倉市のスポーツに対する施策に対する評価

施策が縦割りのため部署ごとに連携した展開を望むという意見や、海や水に対する取組みが遅れている、ハイキングコースの整備に無関心等の意見があった。

#### 3．鎌倉市のこれからのスポーツのあり方

介護予防や高齢者の健康維持のためのプログラムや施設の充実、学校とスポーツ団体との連携、スポーツに対する安全教育の徹底、学童部は地域との密着などの必要性や、社会人は健康の維持増進という二本柱で、という意見があった。

#### 4．鎌倉市のスポーツ施策について

市に対する意見として、市がイベントを後援等することでスポーツ団体をサポートして欲しい、学校と協会との連携の橋渡しをして欲しいなどの意見が複数みられた。

競技至上主義ではなく、子供の創造性や自由な発想や五感を養うような運動に時間を割くべき、正しい投げ方などを指導できる指導者が必要であるなどの意見があった。

#### 5．鎌倉市のスポーツ振興基本計画について

スポーツ団体に対する取組み方針を明確にし、(活動場所となる)施設の整備を重視してほしいとの多くの意見や、総合型地域スポーツクラブに水泳を含めるのは難しいのではないかと、という意見があった。

### 〔民間企業〕

#### 1．施設の一般開放について

協力できる範囲で協力していきたいが、事業所の敷地内の施設はセキュリティの問題などから一般開放は難しいというのが共通していた。

現在施設開放しているところも、正式なものではないが、今後駐車場、夜間照明、安全性などの懸案事項がクリアされれば部分的に正式な開放は可能とのことであった。

#### 2．企業におけるスポーツ活動

社員の健康を保つことが重要という観点からスポーツを重視している。

スポーツイベントに関しては、地域を対象として行っているところはなく、社員と家族、関連会社等を対象としている。

### 3. 鎌倉市のスポーツ施策のあり方

企業のもつ施設をネットワーク化して曜日や種目を決めて使えるようにして欲しい、市内企業が参加するスポーツ大会を市がPRして欲しいなどの要望があった。

#### 〔私立学校〕

##### 1. 施設の一般開放について

一般開放は行っていない。生徒の完全下校後も、警備員を配置していない、個人練習を行っている生徒がいるなどの理由から難しいとのことである。

平日は授業・部活動で埋まっているが、体育館は7時過ぎであれば、ルールの遵守や電気代負担等を行えば、開放可能であるとの意見もあった。

##### 2. 鎌倉市のスポーツに対する施策に対する評価

学校で市のスポーツ施策に協力するのは難しいとの意見があった。

#### 〔地域の団体〕

##### 1. 団体が抱える課題

団体の運営経費不足、世代交代の必要性、イベントに人が集まらないなどの課題がある。

##### 2. 鎌倉市のこれからのスポーツのあり方について

現在の体育指導員に加えて補助的な人員がいてもよいのではないかとの意見があった。

市民の健康増進、地域指導者の育成、PR、地域の特性を活用して歴史のあるローカルスポーツを実践したらどうか等の意見があった。

子どもが小さなときから様々なスポーツに触れられる必要性を指摘する意見があった。

#### 〔その他公益団体など〕

##### 1. スポーツに関連する活動の概要

ゴルフや少年野球などのイベントを地域貢献の一貫として主催(メディア)、賞の贈呈や後援という形でスポーツイベントに協力(経済団体)、市民セミナーや「運動器の10年イベント」などの健康づくりのとりくみ(医療団体)等があった。

##### 2. 鎌倉市のスポーツに対する施策に対する評価について

市のスポーツ施策は標準的で、新しいゲームを許容する空間がない等の意見があった。

##### 3. 鎌倉市のこれからのスポーツのあり方について

スポーツは観光振興のアイテムとなる可能性はある、スポーツは競技と健康の二つの目的があり市全体としては健康を重視すべき、との意見があった。

##### 4. 鎌倉市のスポーツ施策について

市の施策に協力できることとして、「告知、PR」環境の向上、リハビリを兼ねたスポーツ指導や食事・栄養面からのアプローチが可能、との意見があった。

施策に加えるべきものとして、健康面ではみんなで参加できるイベント(太極拳等)があればよい、鎌倉版運動処方のようなものを考えてみるのはどうか、との意見があった。

5. スポーツ振興基本計画策定委員会名簿

敬称略

氏名	職業又は役職	選出区分	所属部会等
イガラシ ユキオ 五十嵐 幸雄	手広中学校教諭	中学校	スポーツ振興専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
ウエハラ マサヒロ 上原 正大	鎌倉高校教諭	高等学校	策定委員会副委員長 パートナーシップ専門部会長 公共施設のあり方部会
エビハラ オサム 海老原 修	横浜国立大学 教育人間科学部教授	学識経験者	策定委員会委員長
カノウ キョウジ 加藤 清和	体育協会副会長	関係団体	スポーツ振興専門部会 公共施設のあり方専門部会
カワ オイ コ 川生 まさ子	体育協会副会長	関係団体	スポーツ振興専門部会 公共施設のあり方専門部会
コイズミ テカタカ 小泉 親昂	体育協会参与	関係団体	スポーツ振興専門部会 公共施設のあり方専門部会
コウ タ テルオ 河田 輝雄	体育指導委員連絡協議会 会長	関係団体	スポーツ振興専門部会 公共施設のあり方専門部会
コサカ マコト 小坂 真	材木座在住	市民委員	スポーツ振興専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
シマ タケシ 島 健	材木座在住	市民委員	スポーツ振興専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
ショウムラ タカシ 庄村 喬	鎌倉女子大学 家政学部教授	学識経験者	公共施設のあり方専門部会長 スポーツ・パートナーシップ専 門部会
ソ バタ イクオ 蘓畑 郁夫	腰越小学校教諭	小学校	スポーツ振興専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
ヤマダ リュウジ 山田 隆二	深沢在住	市民委員	公共施設のあり方専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
ヨダ ミツ ヨ 依田 充代	日本体育大学 日本体育大学女子短期大学 助教授	学識経験者	スポーツ振興専門部会長 スポーツ・パートナーシップ 専門部会
ワカキ カズミ 若木 一美	レクリエーション協会会長	関係団体	スポーツ振興専門部会 スポーツ・パートナーシップ 専門部会

## 6. スポーツ振興基本計画策定委員会開催状況

### 策定委員会

	開催日
第1回	平成16年8月20日(金曜日)
第2回	平成16年12月21日(火曜日)
第3回	平成17年1月18日(火曜日)
第4回	平成17年2月22日(火曜日)
第5回	平成17年3月23日(水曜日)
第6回	平成17年6月9日(木曜日)

### スポーツ振興専門部会

	開催日
第1回	平成16年9月29日(水曜日)
第2回	平成16年10月27日(水曜日)

### 「公共施設のあり方」専門部会

	開催日
第1回	平成16年9月29日(水曜日)
第2回	平成16年12月2日(木曜日)

### スポーツ・パートナーシップ専門部会

	開催日
第1回	平成16年9月22日(水曜日)
第2回	平成16年11月20日(土曜日)

### 市民ワークショップ「鎌倉市のスポーツ振興の将来展望」

	開催日時・場所
開催日時等	平成16年12月11日(土曜日)14時~17時(鎌倉市役所講堂)
次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ振興基本計画」策定の経緯と進捗状況(市からの報告)</li> <li>・鎌倉市のスポーツの活性化についてのグループ討議・発表</li> <li>・鎌倉市のスポーツ施設のあり方についてのグループ討議・発表</li> <li>・鎌倉市のスポーツの将来像についての検討・紹介</li> </ul>

## 7. 用語集

	用語	解説
あ	運動	軽い体操や散歩、健康のために身体を動かす活動。
	運動処方	個人個人の健康状態や目的に合った運動の種類や強度、運動時間を指導すること。
	NPO	非営利組織。政府や企業とは独立し、市民が主体となり社会的な公益活動を行う団体。
	オープンスペース	海辺や山、空き地など、建造物がない場所。
か	交通アクセス	目的地へ行くための方法。交通手段。
	競技スポーツ	記録や技術の向上、大会等での成績の向上を主たる目的として行うスポーツ
さ	市民ワークショップ	市内の問題について、市民と市、市民同士が自由に議論し、問題解決の方向性を見出すための集まり。
	生涯スポーツ	子どもから高齢者までの人生の各段階において、生涯にわたり興味や目的に応じてスポーツに親しむこと。
	スポーツ実施率	1回30分以上の運動を週1日以上実施している人の割合。
	スポーツプログラム	市民のスポーツのきっかけづくりや活性化を目的としたスポーツ教室やセミナーなどのこと。
	総合型地域スポーツクラブ	いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツに親しむことができる社会の実現をめざし、地域住民が主役となって、自ら運営・管理する新しい形態のスポーツクラブ。
た	データベース化	コンピューターなどを利用して情報を蓄積し、検索しやすい形に整理すること。
	トップアスリート	全国的、世界的に活躍する競技者。
な	ニーズ	必要。要求。需要。
	ノウハウ	専門的な知識や技術、経験。
は	パートナーシップ	協働。市と市民・NPO・ボランティア・企業など多様な主体が連携・協力すること。
	バリアフリー化	高齢者や障害のある人が社会参加する上で障壁(バリア)となるものを除去し、自由に社会参加できるようにすること。
	フェアプレイ	正々堂々とした行動や態度。
	ボランティア	地域や社会のために、自ら志願して無償で社会活動に参加し、活動する人。
ま	マリンスポーツ	ヨットやサーフィンなどの海で行うスポーツ。
ら	レクリエーション	疲労からの回復、娯楽のために行う活動。
わ	ワークショップ	参加者が自主的あるいは専門家の助言を得ながら、問題解決に向け、意見交換・情報整理・解決策模索を進める集会。

